

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド・スリランカ・バランス・ファンド（年4回決算型）」は、2021年4月5日に第14期決算を行いました。

当ファンドは、主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第14期末（2021年4月5日）

基準価額	12,092円
純資産総額	396百万円
第13期～第14期	
騰落率	29.0%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIインド・スリランカ・ バランス・ファンド （年4回決算型）

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第7作成期

第13期（決算日2021年1月5日）第14期（決算日2021年4月5日）

作成対象期間（2020年10月6日～2021年4月5日）

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2020年10月6日～2021年4月5日)



第13期首： 9,375円

第14期末： 12,092円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰 落 率： 29.0%

(注1) 当ファンドは主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2020年10月5日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルス感染拡大による世界的な株価暴落からの回復相場が続きました。各国中央銀行による金融緩和策、政府による財政支援策などが世界の株式市場を押し上げました。さらに、世界的に新型コロナウイルスに対するワクチン接種が始まったことで集団免疫を早期に達成できるとの期待が生じ好材料となりました。

インドルピーが、2021年に入って、期末にかけて海外投資家資金の流入により対円で上昇しました。

下落要因

2021年に入り、新型ワクチン接種は始まったものの、集団免疫の獲得まで時間がかかるとの懸念や新規感染者数の拡大などにより世界的に株式市場に一時的な調整が見られました。また、米国での集団免疫の早期達成期待などから債券利回りが急上昇したため、新型コロナウイルス感染拡大後に大きく値上がりした米国の高成長株を中心として、株価水準の調整局面が世界的に見られました。さらに、インド市場では新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、景気への懸念から期末にかけて株価は軟調に推移しました。

1万口当たりの費用明細

（2020年10月6日～2021年4月5日）

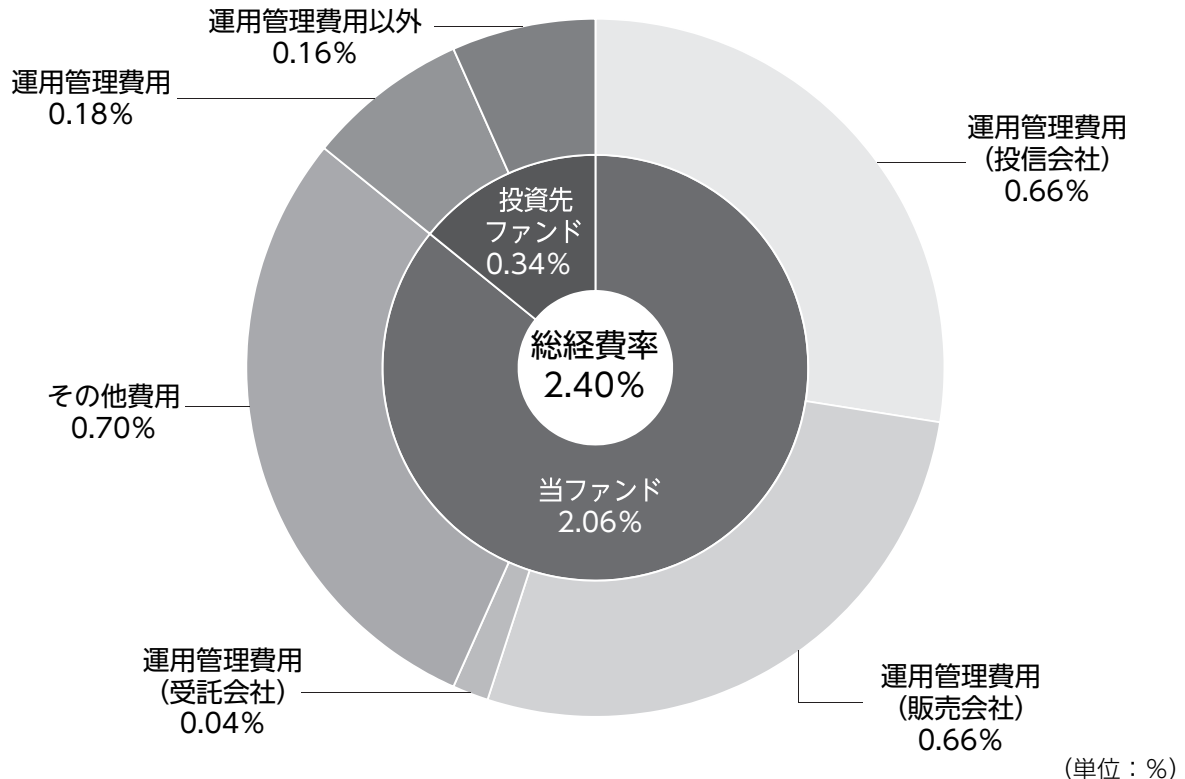
項 目	第13期～第14期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	71 円	0.680 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(35)	(0.329)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.009	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.009)	
(d) そ の 他 費 用	37	0.350	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.028)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(11)	(0.108)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(14)	(0.134)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(8)	(0.080)	インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	110	1.049	
期中の平均基準価額は、10,509円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示しております。
- (注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.40%です。



総経費率 (①+②+③)	2.40
①当ファンドの費用の比率	2.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.18
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②及び③の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②・③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年4月5日～2021年4月5日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2017年10月6日から2021年4月5日）のみの記載となっております。

	2017年10月6日 設定日	2018年4月5日 決算日	2019年4月5日 決算日	2020年4月6日 決算日	2021年4月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,538	9,927	7,521	12,092
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	200	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.8	4.1	△24.2	60.8
純資産総額 (百万円)	700	816	648	356	396

- (注1) 当ファンドは主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBIインド・スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年4月5日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2020年10月6日～2021年4月5日）

<インド>

【インド株式市場】

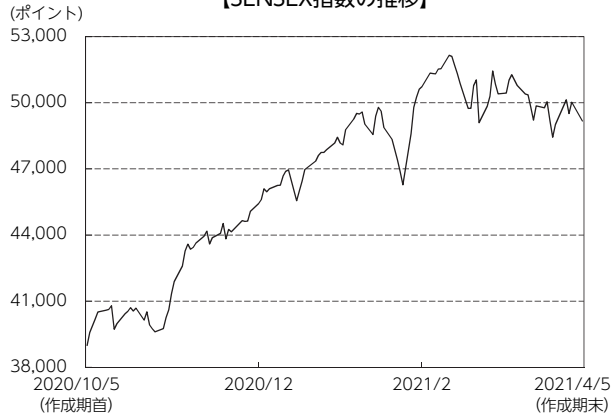
インド株式市場の代表的な指標であるSENSEX指数は、各国が導入した財政金融政策等の景気刺激策により世界の株式市場が上昇する中、10月6日の39,574.57（終値、以下同じ）を期中安値におおむね上昇傾向で推移しました。局面で見ますと、米大統領選挙前に、選挙結果への懸念などで世界的に株式市場が軟調に推移するなか、インド株式市場も軟調に推移しました。11月の米大統領選挙でバイデン氏が当選した後は、不透明感が払拭されたことが好材料となり上昇しました。さらに、12月にかけて米欧など主要国で新型コロナウイルスワクチンの承認が進んだことも追い風となり、世界的に株式市場が上昇するなか、イン

ド市場も堅調に推移し2月15日に期中高値52,154.13を付けました。1月後半ごろから、ワクチン接種開始と集団免疫の獲得への期待が強まりました。経済活動の正常化による急激な景気回復が期待されたため、米国の債券利回りの上振れが見られました。新型コロナウイルスの感染拡大期に大きく値上がりした米国の高成長株をはじめとして、世界的に株価の調整が拡大しインド市場にも波及しました。これに加え、インドではコロナウイルス感染拡大の第2波が見られたことから、2月後半からインド株式市場では調整が見られました。結局、当期は49,159.32で引けました。

【為替市況】

当作成期のインド・ルピーの対円レートは、期前半は1ルピー=1.4円台前半でルピーが軟調に推移しました。その後、1月後半からの米長期金利の急上昇により世界的にドル高基調が続く中、インドでは海外投資家の資金流入の増加が見られ、期末にかけては、1ルピー=1.5円台まで上昇しました。

【SENSEX指数の推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

【為替市況推移】



※ 為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

<スリランカ>

※以下のコメントの内容は、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

当作成期は、米ドル建てスリランカ短期国債利回りが低下（債券価格は上昇）しました。

格付け各社は、スリランカの外貨建て長期債務格付けを引き下げました。同国は外貨準備を主に観光と衣料品の輸出に依存していますが、新型コロナウイルスの影響で消費者の需要が抑制され、同国への旅行を控える傾向となったことが外貨準備高の減少につながりました。米ドル建てスリランカ短期国債は、格下げ発表後には利回りが上昇（債券価格は下落）したものの、その後は中国人民銀行によるスリランカへの15億ドルのスワップライン供与を受けて、利回りが低下（債券価格は上昇）しました。

【スリランカ国債市況の推移】

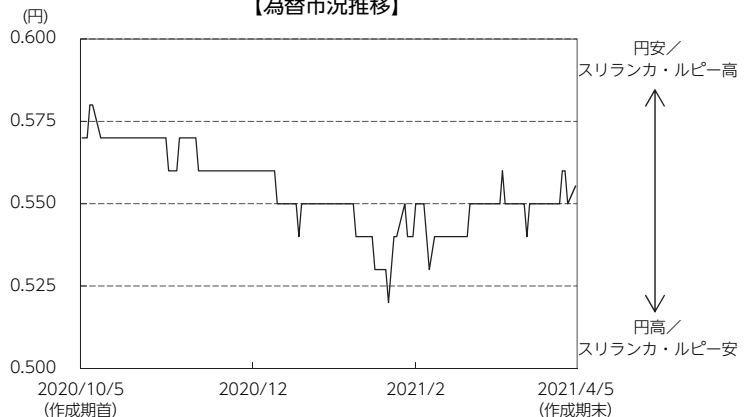


出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 ※政策金利はスタンディング・ファシリティーの預入金利（SDFR）を使用しています。
 ※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。
 ※データ期間（2016年4月5日～2021年4月5日）

【為替市況】

当作成期は、米ドルが対主要通貨に対して上昇し、円安ドル高傾向となりました。米議会での1.9兆ドル規模の追加景気対策可決や、順調なワクチン接種動向などを背景とした米長期金利の上昇などが意識され、米ドルは堅調に推移しました。一方、スリランカ・ルピーは、財政赤字拡大への懸念などから下落する展開となりました。

【為替市況推移】



※ 為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年10月6日～2021年4月5日）

<当ファンド>

主として「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

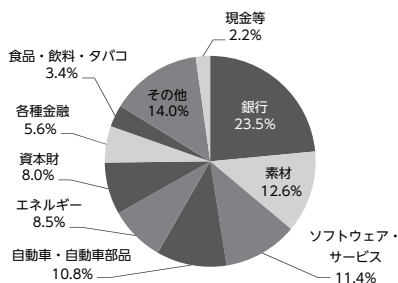
また、基本投資割合をインド株式60%、スリランカ債券40%とし、市況環境、資金動向に応じて機動的に変更を行いつつ運用いたしました。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

なお、直近3月末時点におけるポートフォリオについては以下の通りとなっております。

業種別組入比率



組入上位銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	ICICI銀行	銀行	8.0%
2	インフォシス	ソフトウェア・サービス	7.7
3	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	5.6
4	アクシス銀行	銀行	4.9
5	インドステイト銀行	銀行	3.8
組入銘柄数		49銘柄	

※組入比率はいずれもマザーファンドの純資産総額比です。

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

＜SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）＞

スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近3月末時点におけるポートフォリオについては以下の通りとなっております。

保有債券の属性情報

平均残存期間（年）	0.32
平均修正デュレーション（年）	0.30
平均クーポン（％）	6.25
平均直接利回り（％）	6.49
平均最終利回り（％）	18.37
平均格付け	CCC+

※保有債券の時価評価額を基に加重平均し計算しています。

※格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

保有債券の通貨別構成比

スリランカ・ルピー	0.0%
米ドル	100.0%
円	0.0%

※上表については、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からの資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年10月6日～2021年4月5日）

当ファンドは主としてSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドに運用を再委託する「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及びSBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

（2020年10月6日～2021年4月5日）

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期	第14期
	2020年10月6日～ 2021年1月5日	2021年1月6日～ 2021年4月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —％	— —％
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,055	2,197

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド」及び「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にインドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは、以下のようにコメントしています。

インドではコロナウイルス感染第2波が見られていますが、全国的なロックダウンが実施されていないことや厳格なものでないことなどから、景気に与える一層の悪影響は抑えられています。一方で、ワクチン接種の進展による経済活動の回復が期待されております。新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃を背景に、インド企業の業績は対GDP比で長期的に見て記録的な低水準にまで下がっておりますが、今後は、徐々に向こう数年にわたる上昇局面に転換すると観測しております。

また、米国のバイデン政権が総額2兆ドルの財政支出を予定しており、景気支援の波及効果が期待されております。これにより、グローバルにインドを含む新興国株式市場にとって追い風となると期待されます。

私共は、デフレ的な圧力が弱まり、二極化した市場の修正が予想される環境下、市場平均を上回るパフォーマンスを挙げる銘柄の発掘に努めてまいります。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようにコメントをしています。

当ファンドにおきましては、①スリランカ・ルピー建ての国債利回りは国内での金融緩和を受けて既に大きく低下している一方で、米ドル建ての同利回りは相対的に高いこと、②外貨準備高の維持のためスリランカ・ルピー安の政策を取る可能性があることなどから、スリランカ短期国債の保有を米ドル建て中心としています。

当ファンドのパフォーマンスは、短期的には米ドル建てスリランカ短期国債の価格変動及び為替市場における米ドル円の影響を受けるものの、長期的には相対的に高いインカム収益の積み上げがプラスへ寄与するものと考えています。

お知らせ

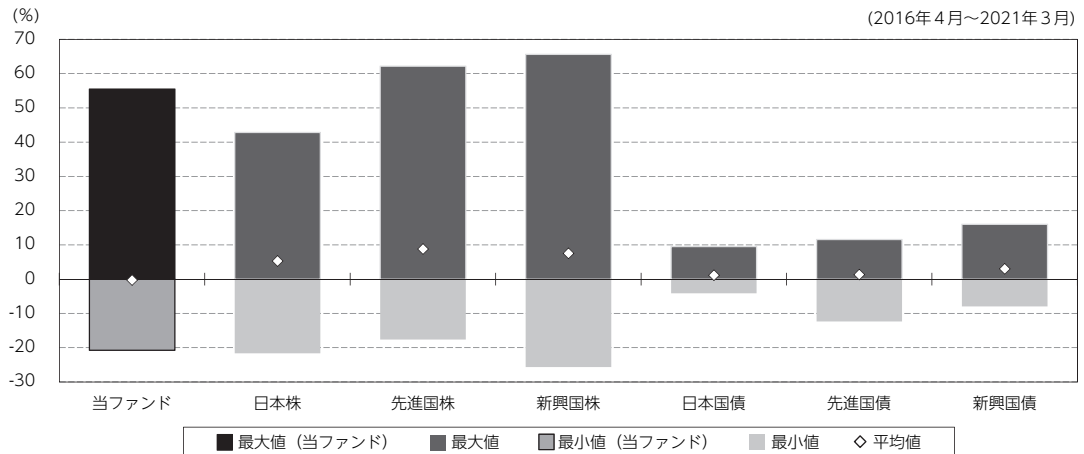
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合
信 託 期 間	無期限（設定日：2017年10月6日）
運 用 方 針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主 要 投 資 対 象	「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。投資対象とする債券は国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等とします。 なお、今後の発展が見込まれる南アジア諸国の株式及び債券に投資する場合があります。
運 用 方 法	主として「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド」及び「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、インドの株式及びスリランカの債券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。 また、原則として、インド株式60%、スリランカ債券40%を基本投資割合とし、市況環境、資金動向に応じて±10%の幅で機動的に変更するものとします。
分 配 方 針	年4回（原則として1月、4月、7月、10月の各5日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	55.5	42.8	62.2	65.6	9.5	11.6	16.0
最小値	△ 20.7	△ 21.7	△ 17.6	△ 25.7	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	△ 0.3	5.3	8.8	7.5	1.1	1.3	3.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年4月から2021年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2017年10月6日（設定日）から2021年3月31日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P15の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年4月5日現在)

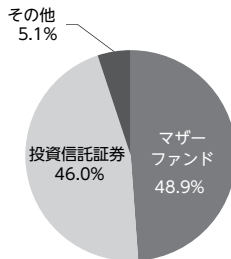
○組入上位ファンド

銘柄名	第14期末
	%
ステイト・バンク・オブ・インド 株・マザーファンド	48.9
SBIボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	46.0
組入銘柄数	2銘柄

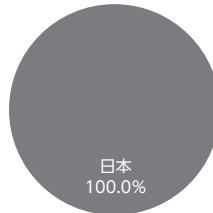
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

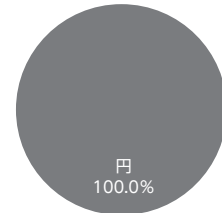
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第13期末	第14期末
	2021年1月5日	2021年4月5日
純資産総額	423,630,614円	396,371,876円
受益権総口数	409,856,752口	327,788,553口
1万口当たり基準価額	10,336円	12,092円

(注) 作成期中における追加設定元本額は9,060,905円、同解約元本額は138,344,218円です。

組入上位ファンドの概要

ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2019年6月5日～2020年6月4日)



【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月5日～2020年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	11円 (11)	0.069% (0.069)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	9 (9)	0.059 (0.059)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	28 (25) (3)	0.182 (0.161) (0.021)
合 計	48	0.310

平均基準価額は、15,487円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2020年6月4日現在)

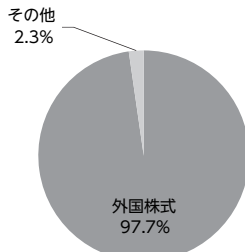
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	8.9%
2	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	7.2
3	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	5.8
4	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	インド・ルピー	インド	5.3
5	コルゲート・パルモリーブ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	インド	5.1
6	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.4
7	タタ・コンサルタンシー・サービスズ	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	4.1
8	マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	3.5
9	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	3.5
10	インドステイト銀行	銀行	インド・ルピー	インド	2.7
組入銘柄数			49銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

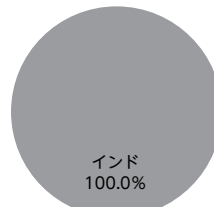
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

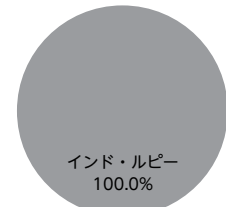
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2020年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）

以下は当該ファンドを運用するSBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

【基準価額の推移】

(2019年11月8日～2020年11月9日)



【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月8日～2020年11月9日)

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年11月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【組入上位10銘柄】

(2020年11月9日現在)

	銘柄名	国(地域)	比率
1	SRILAN 6.25% 7/27/21	スリランカ	74.6%
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		1銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

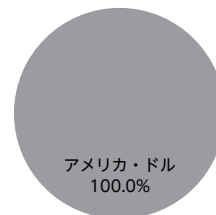
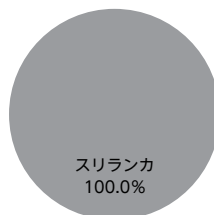
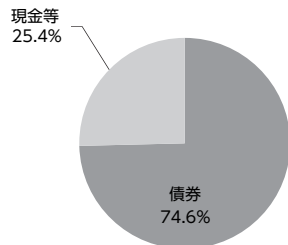
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年11月9日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注4) 通貨別配分の比率は有価証券に対する割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。